平成29年度事務事業評価シート

No.319

平成29年6月29日作成

事業番号	0110	担当課等 社会教育課美術館			1
事務事業名	展覧会開催事業				
予算科目コード	会計 01	款 09 項	07 目 04	事業開始年度	平成 10 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標 [改 策	分 野	主要施策	細 施 策		
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学 文化 び豊かな心を育 むまちづくり	Ⅱ 芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活 動の支援	② 美術館の充実・活用		
関連する個別計画							
目的	湯河原に残された文化遺産を後世に伝える役割を担いながら、観光客や町民が湯河原の魅力を感じられるよう、美術資料を活用した展覧会を企画する。また、生涯学習施設として作家展や講座などの充実に努めるとともに、学校と連携して児童生徒の教育支援を行う。						
対 象	観光客及び町民						
内容	平松礼二館では年 えする他、現代作家			は年4回のゆかり	の作品を展示替		

2 実施結果

(単位 円)

	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度		度(決算)	平成29年	度(見込)	
事業費		事業費	3,775,941			3,914,151		2,764,000	
コフ	人	常勤職員	5,040,000 5,040,00		5,040,000	3,360,000			
^ 	件	非常勤職員等	7,359,554			7,487,082		8,134,000	
	費 人件費合計		12,399,554			12,527,082		11,494,000	
		総事業費	16,175,495			16,441,233		14,258,000	
		国庫支出金							
財		県支出金							
源		地方債							
内									
訳		一般財源	16,175,495			16,441,233		14,258,000	
		財源合計	16,175,495			16,441,233		14,258,000	
		活動指標	指標設定の理由・考えた	方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
平松礼二館•常設館企画展		L二館·常設館企画展	展覧会の開催		回	5	5	5	
現代作家展		作家展	地元作家紹介	日		3	3	3	
成果指標		成果指標	指標設定の理由・考えた	方 単位 平成27		平成27年度	平成28年度	目標値	
総入館者数		馆者数	事業の成果		人	15,504	15,286	24,000	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性 町が実施する必要がある のか	4	町所有の美術品及び借用品のため、直営が望まし い。					
効 率 性 投入した費用に見合った効果が得られているか 類 似 性 他事業との類似はないか	4	人件費、必要経費を勘案すると採算性は低いとい えるが、文化及び観光への貢献度は高いと考える。					
有 効 性 事業の目的に対して成果 が得られているか	3	資料を活用した展示及び関連した普及活動を行った。					
公 平 性 事業の目的に対して受益 の機会が均等か	4	美術館の活動を広く一般に公開している。 また、町民料金を設けることにより、町民に安価で 公開している。					

平成28年度までの 自己評価または 改善点

平成27年度に引き続き、特別展を開催した結果、一定の効果が見られた。継続 的に実施することにより、町民及び一般の方の美術に親しむ機会を提供したい。

4 見直し及び改善

|評価 4区分とその<u>理由を</u>記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)

委託・指定管理 導入の可能性

3

町所有の美術品及び借用品のため、直営が望ましい。

平成29年度の見直し 及び改善 (実績または予定)

平松礼二作品の集約により、より充実した展覧会の企画を実現する。

平成30年度以降の 方向性 収蔵作品だけでなく、借用作品による魅力的な特別展の開催を実施することにより、一層町民及び一般の方の美術作品に親しむ機会を提供し、入館者の増加を目指す。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

集客に結び付く展覧会の企画

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

平成29年度事務事業評価シート

No.320

平成29年6月29日作成

事業番号	0120	担当課等		社会教育課美術館	
事務事業名	アトリエ公開事業				
予算科目コード	会計 01	款 09 項	07 目 04	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政 策	分 野	主要施策	細 施 策	
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学 び豊かな心を育 むまちづくり	Ⅱ 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活 動の支援	② 美術館の充実・活用	
関連する個別計画						
目的	子供たちの情操教育や町民の生涯学習に寄与するとともに、観光客の誘致を図る。					
対 象	観光客及び町	『 民				
内容	平松礼二画作 け、制作過程を		と」の作品制作の	ため、美術館や	りにアトリエを設	

2 実施結果 (単位 円)

		区 分	平成27年度(決算)		平成28年	度(決算)	平成29年	度(見込)
		事業費						8,237,000
コス	人	常勤職員						2,520,000
<u>`</u>	件	非常勤職員等						
	費	人件費合計	0			0	2,520,000	
		総事業費	0			0		10,757,000
		国庫支出金						3,484,000
財		県支出金						
源		地方債						
	内 その他特定財源							
加	一般財源		0	0		7,273,000		
		財源合計	0			0		10,757,000
		活動指標	指標設定の理由・考えて	方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
作	作家のアトリエ案内開催		アトリエ公開		回		-	48
日	数							
		成果指標	指標設定の理由・考えて	方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参	参加者数		事業の成果		人	<u> </u>		720

3	平成28年度までの事業分析及び改善点
---	--------------------

1/3/26 1 及3 2 3 7 未 7 折 次 5 以 日 旅					
評価 5段階	もとその理由を記入(5∶高い_	4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要がある のか				
	投入した費用に見合った効 果が得られているか				
類似性	他事業との類似はないか				
有 効 性	事業の目的に対して成果 が得られているか				
公 平 性 事業の目的に対して受益 の機会が均等か					
平成28年度までの					

平成28年度までの 自己評価または 改善点

4 見直し及び改善

|評価 4区分とその<u>理由を</u>記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)

委託・指定管理 導入の可能性

2

教育施設としての事業であるため、直営が望ましい。

平成29年度の見直し 及び改善 (実績または予定)

新規事業のため、実施しながら適宜改善していきたい。

平成30年度以降の 方向性 教育施設としての活動に加え、温泉場エリア一帯の観光拠点としての位置づけをさらに強化する。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(拡大)

アトリエ完成後、周辺施設と連携した事業の展 開が可能

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

温泉場エリアを一体とした施策の展開が重要となるが、前段として「アトリエ公開」の標準化が必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(拡大)